

東京電機工業株式会社

2019年度

環境活動レポート

対象期間 2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

発行日 2020年4月10日
改定日

東京電機工業株式会社

目次	P1
1. 組織の概要	P2
(1) 事業者名及び代表者名		
(2) 所在地		
(3) 環境保全関係の責任者		
(4) 事業内容		
(5) 事業の規模		
2. 対象範囲	P2
3. 環境方針	P3
4. 環境目標	P4
5. 環境活動計画	P5
6. 環境目標の実績	P6
7. 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容		
(1) 環境活動計画の取組み結果とその評価	P7
①地球温暖化防止の為の無駄なエネルギー消費の削減		
②資源の循環		
③省資源		
④化学物質の維持管理		
(2) 次年度の取組み内容	P7
①地球温暖化防止の為の無駄なエネルギー消費の削減		
②資源の循環		
③省資源		
④施工及び提供する製品における環境配慮		
⑤化学物質の維持管理		
8. 環境関連法規制等の順守状況	P8
(1) 環境関連法規等の順守状況及び評価結果		
(2) 違反訴訟等の有無		
9. 代表者による全体の評価と見直し結果	P9

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

東京電機工業株式会社

代表取締役社長 諏訪 良介

(2) 所在地

本 社 兵庫県姫路市網干区新在家355-2

網干工場 現場事務所 兵庫県姫路市網干区新在家1239

播磨工場 現場事務所 兵庫県たつの市揖保川町馬場805

(3) 環境保全関係の責任者

責任者 代表取締役会長 諏訪 芳一

TEL :079-272-0272

(4) 事業内容

電気工事・計装工事

電気機器修繕

分電盤・制御盤製作

(5) 事業の規模

年 商 2億0,700万円(2019年度)

従業員数(役員含む) 15名

(本社:7人、(株)ダイヤル 網干工場担当:6人、(株)ダイヤル 播磨工場担当:2人)

工場・事務所敷地面積 3,170 m²

(本社:2,600m²、(株)ダイヤル 網干工場担当:455m²、(株)ダイヤル 播磨工場担当:115m²)

2. 認証登録の対象範囲

(1) 認証・登録事業者 東京電機工業株式会社

(2) 対象事業所 本社、網干工場現場事務所、播磨工場現場事務所

(3) 事業活動 電気・計装工事、電気機器修繕、分電盤・制御盤製作

3. 環境方針

東京電機工業株式会社 環 境 方 針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、
全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の事業活動(電気工事・計装工事・電気機器修繕・分電盤、制御盤製作)における
環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

1. 環境関連法規や当社が約束したことを守ります。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。

(1) 地球温暖化防止の為の無駄なエネルギー消費の削減

- ① 自動車のガソリン・軽油消費量
- ② 暖房用灯油消費量
- ③ 電気の使用量

(2) 資源の循環

- ① 循環資源(電線・鋼材・プラスチック・紙等)の分別廃棄
- ② 循環資源の有効利用
- ③ 一般廃棄物及び産業廃棄物の削減

(3) 省資源

- ① 水道水消費量の削減

(4) 施工及び提供する製品における環境配慮

- ① グリーン購入の推進
- ② 梱包材の回収・リサイクル

(5) 化学物質の適切な維持管理

- ① 使用実績の適切な把握
- ② 適切な維持管理

4. 当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します。

制定 : 2006年 4月 1日

改訂 : 2020年 4月 1日

代表取締役社長 諏訪 良介

4. 環境目標と実績値

当社は、“請負業”が主体です。環境目標につきましては、前年度の実績値を、“当年度の目標値”に設定し活動を行っています
2019年度の目標値は、2018年度の実績値を目標値としました。(数値は、全社トータル値です。)

作成者： 諏訪 芳一

環境方針	環境目標	責任者	基準項目	年度	目標値	実績値	実行項目
				基準値(2005年度)			
1. 省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減	環境管理責任者	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	基準値(2005年度)		27,269	1. 電力の低減 2. ガソリンの無駄な使用の削減 3. 灯油の削減
				2016年度	21,161	23,712	
				2017年度	23,712	21,715	
				2018年度	21,715	20,202	
				2019年度	20,202	19,741	
	1) 電力の低減	工場 森下 浩貴 事務所 諏訪 早苗	電力の使用量 (kWh)	基準値(2005年度)		12,584	・無人時の消灯 ・クーラー使用の低減
				2016年度	9,801	10,468	
				2017年度	10,468	10,445	
				2018年度	10,445	11,244	
				2019年度	11,244	11,329	
	2) ガソリンの無駄な使用の削減	各部門の環境責任者	ガソリンの使用量 (L)	基準値(2005年度)		9,089	・燃費のチェック ・相乗り励行 ・不要物を載せない
				2016年度	5,746	6,317	
				2017年度	6,317	5,883	
				2018年度	5,883	5,670	
				2019年度	5,670	5,089	
	3) 灯油の削減	各部門の環境責任者	灯油の購入量 (L)	基準値(2005年度)		1,056	・無人の時は消火 ・ウォームビズの推進
				2016年度	985	1,005	
				2017年度	1,005	926	
				2018年度	926	600	
				2019年度	600	793	
4) 軽油の削減	各部門の環境責任者	軽油の購入量 (L)	基準値(2005年度)		0	・無駄に使用しない	
			2016年度	127	449		
			2017年度	449	147		
			2018年度	147	0		
			2019年度	0	141		
2. 資源の循環	廃棄物の削減	環境管理責任者	廃棄物の発生量 (t)	基準値(2005年度)		0.21	1. 一般廃棄物の削減 2. 産業廃棄物の削減
				2016年度	0.83	17.30	
				2017年度	17.30	0.68	
				2018年度	0.68	23.85	
				2019年度	23.85	0.17	
	1) 一般廃棄物の削減	工場 森下 浩貴 事務所 諏訪 早苗	廃紙量	基準値(2005年度)		0.21	・節紙の徹底 ・コピー間違いの低減 ・コピー前にコピー機の設定確認
				2016年度	0.13	0.16	
				2017年度	0.16	0.16	
				2018年度	0.16	0.15	
				2019年度	0.15	0.16	
	2) 産業廃棄物の削減	各部門の環境責任者	産業廃棄物の発生量 (t)	基準値(2005年度)		0.00	・分別廃棄物の明確化 ・分別廃棄の意識付け ・産廃の教育
				2016年度	0.70	17.14	
				2017年度	17.14	0.52	
				2018年度	0.52	23.71	
				2019年度	23.71	0.02	
	3) 有価物処理量の削減	各部門の環境責任者	有価物の発生量 (t)	基準値(2005年度)		3.11	・端尺材利用の徹底 ・ムダの少ない寸法取り
2016年度				2.25	2.69		
2017年度				2.69	3.81		
2018年度				3.81	11.35		
2019年度				11.35	5.66		
3. 省資源	水道水の削減	山田 順一	水道使用量 (m ³)	基準値(2005年度)		38.0	・トイレの漏水対策 ・漏水のチェック ・雨水の活用
				2016年度	25.6	30.2	
				2017年度	30.2	35.0	
				2018年度	35.0	45.0	
				2019年度	45.0	40.7	
4. 施工及び提供する製品における環境配慮	1) グリーン購入の推進	環境管理責任者	購入率 (%)	基準値(2010年度)		0	・再生紙の購入率拡大
				2016年度	100	100	
				2017年度	100	100	
				2018年度	100	100	
				2019年度	100	100	
5. 化学物質の適切な維持管理	使用実績の適切な把握と維持管理	環境管理責任者	塗料シンナー購入量 (kg)	基準値(2010年度)		10.56	・使用実績の適切な把握
				2016年度	6.32	7.63	
				2017年度	7.63	4.13	
				2018年度	4.13	9.23	
				2019年度	9.23	1.88	

5. 環境活動計画

- ・2019年度の活動の目標値は、2018年度の実績値を目標値として、活動を行った。
- ・主な活動内容は、以下のとおり。

1. 省エネルギー

〔二酸化炭素排出量の削減〕

- 1) 電力の低減
- 2) ガソリンの無駄な使用の削減
- 3) 灯油の削減
- 4) 軽油の削減

2. 資源の循環

〔廃棄物の削減〕

- | | |
|--------------|--|
| 1) 一般廃棄物の削減 | ① 節紙の徹底
② コピー間違いの低減
③ コピー前にコピー機の設定確認 |
| 2) 産業廃棄物の削減 | ① 分別廃棄物の明確化
② 分別廃棄の意識付け
③ 産廃の教育 |
| 3) 有価物処理量の削減 | ① 端尺材利用の徹底
② ムダの少ない寸法取り |

3. 省資源

- | | |
|---------|------------------------------------|
| ・水道水の削減 | ① トイレの漏水対策
② 漏水のチェック
③ 雨水の活用 |
|---------|------------------------------------|

4. 施工及び提供する製品における環境配慮

- | | |
|--------------|-------------|
| 1) グリーン購入の推進 | ① 再生紙の購入率拡大 |
|--------------|-------------|

5. 化学物質の適切な維持管理

- ・使用実績の適切な把握
- ・適切な維持管理

6. 環境目標の実績

当社に於ける環境目標と実績は、次の通り。

項目		年度	2019年度			2020年度	2021年度	2022年度
			(単位)	(目標)	(実績)	(達成率)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量			kg-CO ₂	20,192	19,741	102.3%	19,741	
電力			kg-CO ₂	5,543	5,585	99.2%	5,585	
			kWh	11,244	11,329	99.2%	11,329	
化石燃料	合計		kg-CO ₂	14,659	14,156	103.6%	14,156	
	灯油		L	600	793	75.7%	793	
	ガソリン		L	5,670	5,089	111.4%	5,089	
	軽油		L	0	141	0.0%	141	
廃棄物排出量			トン	23.82	21.36	111.5%	21.36	2020年度
一般廃棄物	合計		トン	0.154	0.157	98.1%	0.157	実績を
	紙 (再生利用)		トン	0.000	0.000	—	—	
	その他 (単純焼却)		トン	0.154	0.157	—	—	
産業廃棄物	合計		トン	23.70	0.02	118500.0%	0.02	目標とする
	再生利用		トン	0.00	0.00	—	—	
	埋立・焼却 等		トン	23.70	0.02	—	—	
有価物の処理量			トン	11.35	5.67	200.2%	5.67	2021年度
総排水量			m ³	45.00	40.70	110.6%	40.70	実績を
再生紙購入率拡大			%	100	100	100%	100	実績を
化学物質使用量			kg	9.23	1.89	488.4%	1.89	目標とする

(注記) ☆ 当社は、請負仕事であり、その内容、量によってCO₂・廃棄物の量が変わり、目標値を設定しにくいので、前年度の実績値を目標値としている。

◎CO₂排出係数：電力 0.514kg-CO₂/kWh、灯油 2.49193kg-CO₂/L、ガソリン 2.32166kg-CO₂/L、軽油 2.62434kg-CO₂/L

◎二酸化炭素排出量は、2.3%減少した。

☆電力は、若干増加、灯油も増加、ガソリンの使用量は減少した。PHV車導入の効果が出ている。

◎再生紙の購入率は、ほぼ100%達成している。

◎化学物質の名称は、キシレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンなどである。

7. 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

(1)環境活動計画の取組み結果とその評価

取 組 計 画	取組み結果	評 価
①地球温暖化防止の為に無駄なエネルギー消費の削減		
1. 二酸化炭素排出量 ・下記の通り	・達成率102.3%	二酸化炭素排出量は、2.3%減少した。 電気使用量が若干増加し、ガソリン使用量は減少したため。
2. 電気の使用量 ・無人時の消灯	・達成率99.2%	・昼食時・無人時の消灯は定着しており、夏場のクーラーの使用についても、無人時の使用は控えられている。 ・PHV車の充電で若干の増加がみられる。
3. ガソリン・軽油使用量 ・燃費のチェック ・エコドライブの励行	・ガソリン使用量の達成率は111.4% ・燃費の記録は出来ている。	・低燃費、PHV車の導入により、ガソリンの消費が減少したと思われる。 ・燃費の記録を確実に続行していく。
4. 灯油の購入量 ・無人時は、消火 ・ウォームビズの推進	・達成率75.7%。	・無人時の消火は定着している。 ・年度初めの4月に購入したため、増加しているが、ほぼ通常通り。
②資源の循環		
1. 廃棄物の削減		
1 一般廃棄物の削減 ・節紙の徹底 ・コピー間違いの低減 ・コピー前にコピー機の設定確認	・達成率98.1%	・昨年度と、ほぼ同じであった。
2 産業廃棄物の削減 ・分別廃棄物の明確化 ・分別廃棄の意識付け ・産廃の教育	・大幅に減少した。	前年度の産廃が多かったため、本年度は、比較して大幅減少となった。
2. 有価物の処理量の削減	・半減した。	前年度は、倉庫の整理により、大量の電線類を処分したため、本年度は比較して減少。
③省資源		
1 水道水消費量の削減 ・節水及び漏水のチェック ・井戸水の活用	・達成率110.6%。	前年度は、倉庫の解体に伴い、散水に使用したためであり、本年度は、節水が良くできている。
④施工及び提供する製品における環境配慮		
1 グリーン購入の推進 ・再生紙の購入率拡大	・ほぼ100%の購入	・コピー紙は全てエコ製品を購入している。
⑤化学物質の維持管理		
1 使用実績の適切な把握	・現象	・残材、空き缶の保管場所の確保。
2 適切な維持管理	・決めた場所に適切に保管	・保管状況に問題なし

(2)次年度の取組み内容

・「環境活動計画の取組み結果とその評価」より、次年度も引き続いて以下の取組みを行う。

①地球温暖化防止の為に無駄なエネルギー消費の削減

- 1. 電気の使用量の削減 → ☆無人時の消灯の徹底・継続
- 2. ガソリンの使用量の削減 → ☆燃費チェックの続行
- 3. 灯油の削減 → ☆無人時の消火の徹底・継続

②資源の循環

- 1. 廃棄物の削減 → ☆分別廃棄の励行

③省資源

- 1. 水道水の使用量の削減 → ☆さらに雨水の活用を検討

④施工及び提供する製品における環境配慮

- 1. グリーン購入の推進 → ☆再生紙の購入量の把握
☆低公害車への切替

⑤化学物質の維持管理

- 1. 使用実績の適切な把握 → ☆使用した製品に含まれる化学物質の把握
- 2 適切な維持管理 → ☆法に準拠した保管場所の確保と保管

8. 環境関連法規制等の順守状況

(1)環境関連法規等の順守状況及び評価結果

適用される法令名	順守すべき要求事項	評 価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理	適正に処理している。
消防法(危険物)	灯油(1000L以上)・ガソリン(200L以上)の1~1/5の保管は、少量危険物保管の届出	適用外であるが、灯油(200L)の保管管理は出来ている。
グリーン購入法	コピー紙、社有車のグリーン購入努力義務	コピー紙は再生紙を購入し、社有車も省エネ車に切り替えている。
PRTR法	塗料・シンナーの適正管理	適用外であるが、維持管理に努めている。

①当社では、ガソリンの保管は無く、灯油の保管量も最大200Lであるが、関係者の意識高揚を図るため維持管理している。

②一般廃棄物の保管場所を確保し、その掲示を実践中。

③塗料・シンナーは、施錠できる保管庫に保管している。

④フロン排出抑制法にて点検の対象となる第一種特定機器は保有していない。

(2)違反訴訟等の有無

・過去4年間にわたり違反や訴訟もなく、環境上の苦情も無し。

9. 代表者による全体の評価と見直し結果

作成者 : 諏訪 芳一

作成日

2020年4月10日

(環境管理責任者)		(代表者)
見直しに必要な情報	コメント・提案	変更の必要性の有無・指示事項
<p>[取組状況の評価結果]</p> <p>1. 法的要求事項の順守状況について ◎廃材保管場所等の掲示できている。</p> <p>2. 是正及び予防処置の状況について ◎消火器の設置場所の掲示もできている。</p> <p>3. 前回までの指摘事項の改善他について ◎修正済み。</p>	<p>[環境方針について]</p> <p>◎建設業者向けガイドライン2009年版に従い、施工及び提供する製品における追加した環境配慮の項目の検証が必要。 ・グリーン購入の推進</p>	<p>[環境方針について]</p> <p>◎従来の項目は、来期も続行。</p> <p>変更の必要性 : 有 無</p>
<p>[目標の達成度]</p> <p>1. 二酸化炭素排出量は、4%の減少。 2. 電気の使用量は、1%増加。 3. ガソリンの使用量は、11%減少。 4. 灯油の使用量は、24%増加。 5. 水道水の使用量は、11%の減少。 6. 再生紙の購入率は、100%。</p>	<p>[目標について]</p> <p>PHV車の導入により、ガソリンの使用量が11%減少し、電気の使用量が若干増加したと思われる。二酸化炭素排出量でも、全体で4%の減少。 水の使用量も減少しており、良く節水に努め、漏水も見られない。</p>	<p>[目標・環境活動計画について]</p> <p>1. 燃費チェックを続行。 2. 灯油の使用量の記録を続行。 3. 電気の使用量の目標値は、前年度との比較値を参考に活動を続行。 4. 産廃の記録を、続行。 5. 一般廃棄物の記録表を続行。 6. 水道のメーターと電気のメーターの検針記録担当を山田順一で続行 7. 再生紙の購入率を100%を続行。 8. 化学物質の使用量の把握を続行。</p> <p>変更の必要性 : 有 無</p>
<p>[周囲の変化状況]</p> <p>1. 外部コミュニケーションについて ◎苦情や要請は、発生しなかった。</p> <p>2. 法的要求事項の動向 ◎変化はないと思われる。</p> <p>3. その他 ◎特になし。</p>	<p>[システムの各要素について]</p> <p>◎梱包資材のリサイクルの記録は、本年度より削除した。</p>	<p>[経営システムの各要素について]</p> <p>◎特に問題点が見つかっていないので変更無し。</p> <p>変更の必要性 : 有 無</p>

<総括コメント>

月1度の全体会議にて、ea21への取り組みと、水・電気の使用量やエコドライブでの社有車の燃費結果を発表している。無駄をなくす意識はかなり浸透していると思われる。新入社員にも浸透させていきたい。

<評価内容>

適切性 : 変化している周囲の状況等にEMSは適切か。

妥当性 : EA21ガイドラインの要求事項に妥当か。

有効性 : 継続的改善及び順法性の確保等に有効か。